

成果の説明書

(氏名) 阿部圭司	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>■研究活動</p> <p>(1)研究論文（及び論文作成に向けた活動）</p> <p>(a) 共同研究にて大学生の金融リテラシーに関するアンケート調査を実施，これに基づく論文を執筆した．2021 年度も同じテーマで調査，研究活動を継続する予定． 阿部圭司・小澤伸雄・木下康彦，2020 年，「大学生を対象とした金融リテラシーの項目反応理論に基づく検討」，『高崎経済大学論集』，Vol.63，No.1，pp.1-15.</p> <p>(b) 共同研究にて，ESG 投資における投資家リテラシーのアンケート調査を実施．阿部は主にアンケート結果の分析を担当した．2021 年度に成果の一部を学会にて発表予定．</p> <p>(c) 高崎市の製造業に関する地域科学研究所プロジェクトでは，2021 年 2 月に学内で開催された報告会で報告を行った．また，ベトナムの経済・日本企業の進出状況に関する原稿と，担当する企業に関する原稿を執筆した．発刊は 2021 年度の予定．</p> <p>(d) 高崎市の中心市街地活性化を研究対象とした地域科学研究所プロジェクトに参加することとなり，高崎市の市街地人口推移に関するデータの収集とデータベース化を行い，人口密度の経年変化を分析した．一方，予定していた国内事例調査はコロナウイルス流行の影響で実現できなかった．</p> <p>(2)外部研究機関との連携</p> <p>2020 年度は群馬経済研究所と連携した研究会はコロナ流行のため休止．2021 年度から再開の予定．</p> <p>■教育活動</p> <p>ゼミナールにて日本経済新聞社が主催する「日経 STOCK リーグ」へ参加した．2020 年度の予選通過は 1 チームのみとなった．また，高大連携事業の一環として，高崎経済大学附属高校 2 年生とのコラボゼミを 1 年間実施し，1 チームが予選を通過するという結果となった．</p> <p>■その他</p> <p>【学内】研究科長（2017/4～）として大学院運営（教務，入試等）に携わった． 【学外】高崎市・渋川市（2 委員会）で委員会の委員を担当</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>なし</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>■研究 2021 年度，学生に対する金融リテラシーに関する研究では，危険回避度の測定を実施し，これと金融リテラシーの水準に関する研究を予定している．また，ESG 投資に関する投資家のリテラシー調査では，2020 年度の調査を踏まえて規模を拡大した本</p>	

格的な調査を検討している。

中心市街地活性化の研究については、先述したようにコロナウイルス流行から延期となった。2021年度は再び日程を調整し、調査を実施したい。また中心市街地人口については1970年代から今日までの市街地拡大及び中心市街地の空洞化、さらに中心市街地人口の回復傾向について検証し、さらに地価や利用状況などの情報を加えた分析を試みてみたい。

群馬経済研究所との研究会では、同研究所のネットワークを活用し、県内企業・従業員を対象とした調査に取り組んでみたい。

■教育 2020年度は、コロナウイルス流行に伴いリモートによる講義となった。対面に戻る2021年度においても、リモート講義で得た知見を活用し学生の参加意識を向上させる試みに取り組んでみたい。